

第1回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和2年9月24日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」は、今年度委嘱替えを行い、新たな委員3名を迎えて2期目がスタートしました。自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。

協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

< 委員紹介 > 敬称略

	委員氏名	所属
1	森谷 哲郎	もりやクリニック 院長
2	布施 秀樹	白井聖仁会病院 院長
3	近藤 修一	すまいる歯科 院長
4	鈴木 雅之	レモン薬局 薬局長
5	福岡 幸子	白井市民生委員・児童委員連絡協議会 会長
6	平野佐代子	さつきの里訪問看護ステーション 看護師
7	小倉 崇綺	北総白井病院訪問リハビリ 理学療法士
8	久米 寛子	ケアサービス優楽里 サービス提供責任者
9	鶴澤 君衣	北総白井訪問看護ステーション居宅介護支援部主任ケアマネ
10	中野健太郎	印西警察署 生活安全課長
11	石戸 等	白井消防署 署長

●● 第1回協議会の主な内容 ●●

今回は、「在宅医療・介護連携と認知症施策の昨年度活動実績報告」等、行いました。

在宅療養の4場面「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」における医療と介護の連携体制構築を目指して取り組んできた内容を報告し、今後に向けた課題の整理、方針についてご意見をいただきました。

在宅医療後方支援制度の創設や救急医療情報キット普及等の成果を上げている一方、市民の間では在宅医療や在宅看取りの理解が浸透していない等、課題も多くあります。また今後は、「感染症・災害時対応」への取り組みも検討していく必要があります。

進捗については、今後のレポートで報告させていただきます。

今年度の課題別ワーキングは、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の見直しをしています。現時点で下記ワーキングのメンバー募集を予定していますが、変更する場合があります。

在宅医療・救急医療連携

市民啓発

医療と介護の情報共有
(ICT検討)

「在宅医療後方支援体制」についてご存知ですか？

在宅医療を受けている患者が入院を必要とする状態になった際に在宅医を通じて、あらかじめ登録を済ませた市内3病院（白井聖仁会病院・北総白井病院・千葉白井病院）で受け入れる制度です。

市外の在宅医療機関を利用している市民も制度の利用が可能です。在宅医療患者に関わる訪問看護師やケアマネジャーの方々に、この制度についてご理解いただき、患者家族や在宅医に紹介していただくと幸いです。ご不明な点については、白井市地域包括支援センターまでお問合せください。